

みどころ満載、ダムの魅力を満喫！ 「ダム・発電所の見学会」に、約1,200人が来場！

H29.7.29～30

―森と湖に親しむ旬間 行事運営報告―

九頭竜川ダム統合管理事務所

森と湖に親しみ身心をリフレッシュしながら、森林やダムの重要性について理解を深めてもらうことを目的として、ダム及び発電所の見学会を開催しました。

普段は入ることの出来ないゲート室や堤体内通路を間近でみてもらい、興味をもってもらえるダム見学会になるよう工夫しました。当日は、あいにくの曇り空にもかかわらず、多くの家族づれや県外からも約1,200人の方々が来場されました。

真名川ダムでは、堤体内通路や見学ステージからダム本体や、52mの高さまで噴き上がる噴水を間近に見て、そのスケールの大きさを体感しつつ、パネル展示でダムの構造や機能、役割について説明を行いました。真名川ダム見学会の様子は、NHKのお昼と夕方のニュースで紹介されました。

九頭竜ダムでは、高低差128m、639段の階段で長野発電所に通じる冬期連絡通路を開放して洪水吐ゲートを間近に見たり、展示館内のパネル展示や建設当時の映像などで、ダムの構造や役割を説明しました。水上巡視体験では、湖面からのダムの姿を見学してもらいました。

【概要】

■真名川ダム・笹生川ダム会場

開催日時：平成29年7月29日(土) 10:00～16:00

来場者数：約400人

■九頭竜ダム・長野発電所会場

開催日時：平成29年7月30日(日) 10:00～16:00

来場者数：約800人

■主催：「森と湖に親しむ旬間」行事運営連絡会



【噴水を間近で】

【NHKの取材】



九頭竜ダム会場



【パネル展示】

真名川ダム会場



【堤体内見学】



【下流部からのダム】



【長野発電所内見学】



【639段の冬期連絡通路開放】



【水上巡視体験】



【来客者の声】

○初めてダムを見て大きさに感動しました。ダムの中に入ったときは、涼しくて気持ち良かった。

○パネル展示を見て、ダムの役割が勉強できました。

○冬期連絡通路は、降りるのは楽だったけど、昇りの639段がめっちゃきつかった。

○水上巡視体験で初めて乗ったボートがすごく気持ち良かった。

○ダム建設当時のビデオ観賞で建設の苦勞が理解できました。

【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所 管理課
〒912-0021 大野市中野29-28 TEL 0779-66-5300(代)